

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公表番号】特表2016-537293(P2016-537293A)

【公表日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-543963(P2016-543963)

【国際特許分類】

C 01 B 39/48 (2006.01)

C 07 D 207/06 (2006.01)

【F I】

C 01 B 39/48

C 07 D 207/06

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) (1) コロイド状アルミノケイ酸塩；(2) N-シクロヘキシル-N-メチルピロリジニウム、N-メチル-N-(3-メチルシクロヘキシル)ピロリジニウム、N-エチル-N-(3-メチルシクロヘキシル)ピロリジニウム、及びこれらの混合物からなる群から選択されるカチオン構造規定剤；(3) 周期表の1族及び2族から選択される元素の少なくとも1種の供給源；(4) 水酸化物イオン；及び(5) 水を含有する反応混合物を調製すること；並びに

(b) 前記反応混合物を、CHA型分子ふるいの結晶を形成するのに十分な結晶化条件に置くこと

を含む、CHA型分子ふるいを調製する方法。

【請求項2】

前記分子ふるいが、モル比換算で以下のものを含む反応混合物から調製される、請求項1に記載の方法：

【表1】

SiO ₂ / Al ₂ O ₃	10 – 300
M / SiO ₂	0.01 – 0.3
Q / SiO ₂	0.05 – 0.4
OH ⁻ / SiO ₂	0.1 – 0.8
H ₂ O / SiO ₂	5 – 50

表中：

(1) Mは、周期表の1族及び2族から選択される少なくとも1種の元素であり；そして(2) Qは、前記カチオン構造規定剤である。

【請求項3】

前記分子ふるいが、モル比換算で以下のものを含む反応混合物から調製される、請求項2に記載の方法：

【表2】

SiO ₂ / Al ₂ O ₃	20 – 100
M / SiO ₂	0.02 – 0.1
Q / SiO ₂	0.1 – 0.3
OH ⁻ / SiO ₂	0.2 – 0.4
H ₂ O / SiO ₂	15 – 30

表中：

(1) Mは、周期表の1族及び2族から選択される少なくとも1種の元素であり；そして
(2) Qは、前記カチオン構造規定剤である。

【請求項4】

前記反応混合物が、C H A種結晶を更に含む、請求項1に記載の方法。